

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年10月29日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	榎原啓之
レジメン名	オブジーボ+ヤーボイ併用療法(結腸・直腸がん)		
疾患名	大腸がん	適応の備考	がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸がん
適応分類	進行・再発		
1コース日数	21	日間	総コース数
			4
			コース
			催吐性リスク
			最小度

抗がん剤投与量・投与日|オブジーボ 240mg/body、ヤーボイ 1mg/kg day1

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)		(day)																							
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注		/																						
2	主ルート	生食100mL オブジーボ	1 本 / body 240 mg / body	30 分	●																				
	点滴静注		/		●																				
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注		/																						
4	主ルート	生食50mL ヤーボイ	0.4 本 / body 1 mg / kg	30 分	●																				
	点滴静注		/		●																				
5	主ルート	生食30mL抜く 生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注		/																						

【投与上の注意】

オブジーボ: 0. 22または0. 2μ mのインラインフィルターを使用して投与する。

オブジーボ: 希釈後の総液量は60mL以上を目安とする。体重30kg以上の場合、生食100mL、体重30kg未満の場合、生食50mLに希釈する。

オブジーボ: 希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、点滴溶液中の安定性が確認されていない。

ヤーボイ: 0. 2~1. 2μ mのインラインフィルターを使用して投与する。

ヤーボイ: 希釈後の最終濃度は1~4mg/mLとする。体重30kg以上の場合生食20mLに希釈する。

【減量基準】

ヤーボイ

・Grade 2の副作用(内分泌障害及び皮膚障害を除く)、Grade 3の皮膚障害、症候性の内分泌障害

処置: Grade 1以下又はベースラインに回復するまで投与を延期する。内分泌障害については、症状が回復するまで投与を延期する。

上記基準まで回復しない場合は、投与を中止する。

・Grade 3以上の副作用(内分泌障害及び皮膚障害を除く)、局所的な免疫抑制療法が有効でないGrade 2以上の眼障害、Grade 4の皮膚障害

処置: 投与を中止する。